

NPO法人 福祉フォーラム・ジャパン

セミナー

人工透析の中止問題を考える

＝福生病院の事例を軸に＝

公立「福生病院」で、腎臓病の人工透析を中止した女性患者が死に至った事例は大きな波紋を広げた。本人の意思による中止か、揺れ動く意思に病院側は対応したのか、終末期とは言えない容体ではなかったか。同院では同意書のないまま非導入や中止で亡くなった方も多い。逆に安易な人工透析の導入例もあるのではないか。医療提供側の臨床倫理の理解と徹底の在り方、国民の死生観や基本的人権とのかかわりをどう考えるのか。我が国の人工透析は機器や技術の質の高さが国際的にも評価される一方、その長期にわたる比較的高額な医療費に対する批判は未だ止まない。そうした費用の観点から本事業について予断をもって評価する陥穽にはまっていないか。

少子高齢社会の本格的進行の中で、高齢者や障害者、難病を抱える患者の意思と尊厳をいかに守るか、チーム医療やガイドラインでどう支えるか、家族等を含めて「人生会議」の愛称をつけた「ACP」（アドバンス・ケア・プランニング）をいかに実効あるものとして普及させるか。課題は山積している。

専門家、有識者によるセミナーを開催し、参加者と共に考えたい。

日時：2019年7月25日（木）18時30分～20時30分

パネリスト： 宮本 太郎 氏 中央大学 法学部 教授
三浦 靖彦 氏 東京慈恵会医科大学附属柏病院
診療部長・准教授
箕岡 真子 氏 日本臨床倫理学会 理事
コーディネーター： 宮武 剛 氏 日本リハビリテーション学舎 理事長

会場：プレスセンタービル9階 大会議室 日本記者クラブ
東京都千代田区内幸町2-2-1

会費： 会員 1,000 円 非会員 2,000 円 （先着50名）

※当日入会も受け付けております。（入会金2,000円・年会費3,000円）

※取材の場合は資料代として1,000円

主催：NPO法人福祉フォーラム・ジャパン

東京都渋谷区代々木4-30-3 新宿ミッドウエストビル(NPO法人日本アビリティーズ協会内)

電話：03-5388-7260

FAX：03-5388-7210

E-mail：ffjinfo@ff-japan.org

HP：http://www.ff-japan.org/

【参加申込書】 ご記入の上、メールまたはFAXにて送信ください

(E-mail) ffjinfo@ff-japan.org / FAX:03-5388-7210

会員No.		<input type="checkbox"/> 入会希望
フリガナ		
お名前		

所属		役職	
住所	〒		
	TEL :	FAX :	
E-mail			

- 内容および出演者は一部変更になる場合がございます。
- ご記入いただいた個人情報は、受付・当フォーラム関連の開催のご案内以外の目的には使用いたしません。なお 取得・保有した個人情報には適切な保護措置を講じます。



千代田線・日比谷線「霞ヶ関駅」

C-4 出口より徒歩 3 分

丸の内線「霞ヶ関駅」

B-2 出口より徒歩 6 分

都営三田線「内幸町駅」

A-7 出口より徒歩 2 分

JR「新橋駅」

日比谷口(SL広場側)より徒歩 10 分

※ 駐車場はございませんので、日比谷シティーパーキング（電話 03-3595-0971）をご利用ください。